

まだまだ暑い日が続いています。夏の疲れが出てくる頃ですが、園では運動会などの行事が目白押し！
元気に過ごせるよう、毎日の体調の変化にご注意ください。

9月9日は「救急の日」です。この機会にケガ等を防ぐために気を付けることを振り返ってみましょう。

交通ルールを守って、 事故を防ぎましょう

1～14 歳の子どもの死亡事故で最も多いのは
交通事故です。小さいころから交通マナーを伝
えることが、子どもの命を守ります。

こどもチェック ①

駐車場も注意

事故は駐車場でも起こります。道路や駐車場など、車が多い場所では、必ず手をつないで歩く習慣をつけましょう。



こどもチェック ②

自転車の死亡事故も多い

自転車に乗っているときの事故も増えています。スピードを出さない、曲がり角では停止するなど、自転車のルールもしっかり伝えましょう。

交通事故を防ぐために心がけたいこと

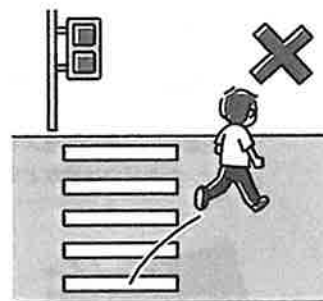
① 普段から交通ルールを 教えましょう

朝夕の送り迎えは、交通ルールを学ぶ大切な時間。横断歩道を渡ること、歩道から飛び出さないこと、信号の意味などを伝えましょう。



② 大人もルールを守りましょう

急いでいると、信号を無視したり、道路を横切ったりしたくなりますが、子どもは見ています。みんなが交通ルールを守りましょう。



③ 事故を招かない工夫をプラス！

- 大人が、子どもの事故を防ぐことも大切です。
- 道路の反対側から子どもを呼ばない
 - 後部座席はチャイルドロック
 - 道路で遊ばせない
 - チャイルドシートやシートベルトを正しく使うなど、できることはたくさんあります。



夏こそしっかり食べましょう

食べ方 check!

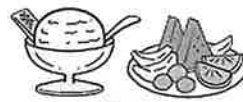
☐ 冷たいものばかり食べている



☐ 野菜はサラダばかり食べている



☐ アイスcream や冷やした果物をよく食べる



☐ 冷たいジュースが最高だ



温かいものも食べましょう

体の中を冷やすのは体調不良のもと。生野菜だけでは量が不足しがちなので、野菜を使った温かい料理を一品プラスすることから始めましょう。

甘いものは食欲を低下させます

冷たいものは胃腸の働きを低下させますし、甘いものばかり食べていると食欲がわきません。おやつを見直し、水分補給はお茶にしましょう。

予防接種を受けましょう

気をつけたい副反応

注意 ・けいれんを起こす
・おう吐 ・頭痛

副反応の多くは、接種部分のはれや発熱ですが、まれに命にかかわるものや、重い後遺症を引き起こすものもあります。けいれんや頭痛、おう吐などの症状が見られたら、早急に医療機関を受診する必要があります。

いつ受ければいいのか？

母親からもらった免疫が薄れてくる時期や、その病気にかかりやすい年齢、病気が重症化しやすい年齢などに応じて受ける必要があります。病気ごとに定められた期間内に、接種することが大切です。

異なるワクチンの接種の間隔が2020年10月から変更になりました。体調の変化などで予定どおりに進まないときや接種スケジュールがわからないときは、かかりつけ医などに相談しましょう。



予防接種を受けた日は

接種後30分は医療機関で様子を見るようにします。接種した部分の異常なはれや急な発熱、発しんなどがなければ、特に安静にしている必要はありませんが、過度な運動は避け、室内遊びなどで過ごしましょう。



タオル回収のお願い！

園では嘔吐処理の際、古いタオルを使用しています。

ご家庭で不要になったバスタオル・フェイスタオルの収集にご協力をお願いします。

※シーツ・タオルケット・ハンドタオルは対象外です。

お持ちいただいた際には、職員にお渡しください。